

北伊勢上野信金職員へ 「事業承継支援」で研修

エクステンド

事業承継支援のエクステンドは2月16日、北伊勢上野信用金庫（三重県、南部和典理事長）で「事業承継支援能力強化研修」を開催。事例研究で職員の提案力強化を図った。研修には4人1グループで3グループ、計12人の若手営業店担当者が参加した。

冒頭の「戦略的事業承継のフレームワーク」で、奥田雄二講師が事業承継の基礎知識や枠組みについて講義。その後、よくある事例に基づき各グループが対応策を練り、その後、解決策発表と講師からの解説、質疑が行われた。これを五つの事例について繰り返した。

「債務過多」の事例では、事業価値を実際に計算。営業利益だけでなく、経営者の保険や役員報酬などをプラス価値として計算することで債務過多でも事業承継の対象となり得ることを学んだ。また、

奥田講師は「顧客が事業承継において何を考えているかを引き出してほしい」とした。



講義する奥田講師（右、2月16日、北伊勢上野信金本部）

「親族内承継」の事例では、子息が引き継ぐタイミングを「株式・財産」の部分と「実際の権限」の部分に分けて提案することで、経費や経営権